

2021年6月22日

2021-22シーズンの季節性インフルエンザワクチンの接種に関する 日本ワクチン学会の見解

2021年6月22日現在、新型コロナウイルス感染症（以下、COVID-19）の、世界の感染者は1億7878万人、死者は387万人を超えています¹⁾。我が国においても、2020年1月15日に最初の感染者が報告されて以降、2021年6月21日現在まで感染者（PCR検査陽性者）は785,287例、死亡者は14,423名となりました²⁾。

COVID-19とインフルエンザの流行期が重なることによる外来受診患者の増加や医療体制の逼迫は、今冬の2021-22シーズンにも懸念されます。本学会は、今シーズンのインフルエンザワクチンの接種について以下の通り見解をまとめました。

1. 2020-21シーズンのインフルエンザの流行状況と感受性者

国内における2020-21シーズンのインフルエンザの累積の推計受診者数は約1.4万人でした。COVID-19の流行に伴い、受診行動等が2019-20シーズン以前と大きく異なったことが推定されますが、例年に比べると明らかに流行の規模は小さいものでした³⁾。一方、国民の2020-21シーズン前のインフルエンザワクチン株に対する抗体保有状況は、各年齢群において、決して高いものではありませんでした⁴⁾。2020-21シーズンは上記の通り流行の規模が小さかったことから感染者も少なく、その結果として2021-22シーズンはインフルエンザに対する感受性者のさらなる増加が危惧されます。

2. 2021-22シーズンのインフルエンザワクチン接種について

上記のような背景から、インフルエンザの罹患率や死亡率を低下させるため、本学会は、生後6か月以上のすべての人に対するインフルエンザワクチンの接種を推奨します。

なお、インフルエンザは定期接種対象疾病（B類疾病）であり、65歳以上の高齢者、60歳以上65歳未満であって、心臓、腎臓、または呼吸器の機能により自己の身の日常生活活動が極度に制限される程度の障害を有する者およびヒト免疫不全ウイルスにより免疫の機能に日常生活がほとんど不可能な程度の障害を有する者は定期接種の対象となります。

1) 特に接種が推奨される方

- ◆ 医療従事者、エッセンシャルワーカー：急性期後や長期療養施設のスタッフを含む医療従事者、薬局スタッフ、その他重要インフラの業務従事者
- ◆ インフルエンザの合併症のリスクが高い方：生後6か月以上5歳未満の乳幼

児、神経疾患のある子ども、妊娠中の人、65 歳以上の高齢者、その他特定の基礎疾患を持つ方

2) 接種回数と接種間隔

- ◆ 13 歳以上の方は、1 回接種を原則としています^{5,6)}。ただし、医師が特に必要と認める場合は、1～4 週の間隔で 2 回接種します。
- ◆ 生後 6 か月（注）以上 13 歳未満の小児は 2～4 週の間隔で 2 回接種です。ただし、海外では、9 歳以上は 1 回接種が適切と示しております⁷⁾。何らかの事情で 2 回の接種機会が得られない場合でも 1 回は接種し、未接種のまま、インフルエンザシーズンを迎えないようにしてください。

注) 一部のワクチンは 1 歳以上です。

3. インフルエンザワクチンの有効性と安全性

1) 有効性

- ◆ 65 歳以上の高齢者福祉施設に入所している高齢者については 34～55%の発病を阻止し、82%の死亡を阻止する効果があったとされています⁸⁾。
- ◆ 6 歳未満の小児を対象とした 2015/16 シーズンの研究では、発病防止に対するインフルエンザワクチンの有効率は 60%と報告されています⁶⁾。

2) 安全性

- ◆ インフルエンザワクチン接種後には、注射部位の発赤、痛み、腫れなどの局所反応や、発熱、悪寒、頭痛、倦怠感、関節痛、筋肉痛などの全身反応を含む、副反応が出現する可能性があります。これらの副反応は、通常、2～3 日以内に消失します。

4. 結論

日本ワクチン学会は、今冬の国民の感染症対策と医療体制の維持のため、今シーズンのインフルエンザワクチン接種について、強く推奨いたします。

今シーズンのインフルエンザ HA ワクチンは、A/ビクトリア/1/2020 (IVR 217) 株、A/タスマニア /503/2020 (IVR 221)株、B/ビクトリア/705/2018 (BVR 11)、B/プーケット /3073/2013 の 4 価ワクチンであり、昨シーズンから A/H1N1 株、A/H3N2 株が変更となりました。ワクチンの株選定にあたっては、世界で分離されたウイルス株とワクチン候補株の反応性や、ワクチン製造所における製造効率などを踏まえた総合的な見地から評価・選定されています。

今シーズンも 65 歳以上の高齢者等のリスクの高い方が確実に接種できる体制を早期に準備しておくことが重要です。また、今冬は COVID-19 ワクチンの接種と

並行してインフルエンザワクチンを接種するケースも考えられることから、両ワクチンの接種に関する正確な情報提供に努め、希望者には滞りなく接種が進められるよう配慮することが必要と考えます。

以上

<文献>

- 1) COVID-19 Dashboard by the Center for Systems Science and Engineering (CSSE) at Johns Hopkins University (JHU),
<https://gisanddata.maps.arcgis.com/apps/dashboards/bda7594740fd40299423467b48e9ecf6> 令和3年6月22日閲覧
- 2) 厚生労働省ホームページ、https://www.mhlw.go.jp/stf/covid-19/kokunainohasseijoukyou.html#h2_1 令和3年6月22日閲覧
- 3) 厚生労働省 インフルエンザに関する報道発表資料 2020/2021 シーズン 2021年3月12日 インフルエンザの発生状況について
<https://www.mhlw.go.jp/content/000752481.pdf> 令和3年6月22日閲覧
- 4) 国立感染症研究所 インフルエンザ抗体保有状況 -2020年度速報第2報-
<https://www.niid.go.jp/niid/ja/je-m/2075-idsc/yosoku/sokuhou/10102-flu-yosoku-rapid2020-2.html> 令和3年6月22日閲覧
- 5) 平成23年度 厚生労働科学研究費補助金 新興インフルエンザ等新興・再興感染症研究事業「予防接種に関するワクチンの有効性・安全性等についての分析疫学研究（研究代表者：廣田良夫（大阪市立大学）」
- 6) 平成28年度 厚生労働行政推進調査事業費補助金（新興・再興感染症及び予防接種政策推進研究事業「ワクチンの有効性・安全性評価とVPD（vaccine preventable diseases）対策への適用に関する分析疫学研究（研究代表者：廣田良夫（保健医療経営大学）」
- 7) Seasonal Influenza Vaccine Dosage & Administration
<https://www.cdc.gov/flu/about/qa/vaxadmin.htm> 令和3年6月22日閲覧
- 8) 平成11年度 厚生労働科学研究費補助金 新興・再興感染症研究事業「インフルエンザワクチンの効果に関する研究（主任研究者：神谷齊（国立療養所三重病院）」

日本ワクチン学会

理事長 岡田 賢司

役員	明地 正晃	石井 健	岩田 敏	奥野 良信
	五味 康行	砂川 富正	園田 憲悟	高崎 智彦
	竹田 誠	田中 敏博	多屋 馨子	中野 貴司

中山 哲夫 長谷川 秀樹 原 めぐみ 宮崎 千明
 森 康子 森内 浩幸 吉川 哲史

(五十音順)

【利益相反の開示】

この見解の公開に際して、「日本ワクチン学会における利益相反に関する指針
 (<http://www.jsvac.jp/coi/shishin.pdf>)」に基づき、開示すべき利益相反は、別表に示すと
 おります。また、本見解はインフルエンザワクチンに言及するものであることを鑑み、当
 該ワクチンの製造販売承認に係る団体に所属あるいは関与する場合は特記事項に開示
 しました。

別表：利益相反の開示

	利益相反内容	特記事項
岡田 賢司	なし	
明地 正晃	なし	(一財)阪大微生物病研究会の職員
石井 健	【共同研究費】ゼリア新薬工業(株)、(株)マン ダム、(株)UMN ファーマ、鳥居薬品(株)	
岩田 敏	【講演料・会議出席謝礼】大正富山医薬品 (株)、ファイザー(株)、アステラス製薬(株)	
奥野 良信	なし	
五味 康行	なし	(一財)阪大微生物病研究会の職員
砂川 富正	なし	
園田 憲悟	なし	KM バイオロジクス(株)の社員
高崎 智彦	なし	
竹田 誠	なし	
田中 敏博	【講演料】第一三共(株)、田辺三菱製薬(株)	
多屋 馨子	なし	
中野 貴司	【講演料・会議出席謝礼】第一三共(株)、サノ ファイ(株)、田辺三菱製薬(株)、アステラス製薬 (株)、デンカ(株)	
中山 哲夫	【講演料】武田薬品工業(株)	
長谷川 秀樹	なし	
原 めぐみ	なし	
宮崎 千明	なし	
森 康子	【原稿料】(一財)阪大微生物病研究会	
森内 浩幸	【講演料・会議出席謝礼】MSD(株)	
吉川 哲史	【講演料】ジャパンワクチン(株)	